
岐阜県精神保健福祉センター所報 NO. 51

(令和3年度実績)

岐阜県精神保健福祉センター



目 次

I	施設の概況	2
II	組織及び職員	3
III	業務実績	4
	1. 技術指導及び技術援助	4
	2. 精神医療審査会活動実績	7
	3. 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療） に係る判定・交付実績	10
	4. 教育研修	11
	5. 広報普及	13
	6. 精神保健福祉相談	14
	7. 自殺対策事業	18
	8. ひきこもり対策事業	20
	9. 依存症対策総合支援事業	24

センターの規模等

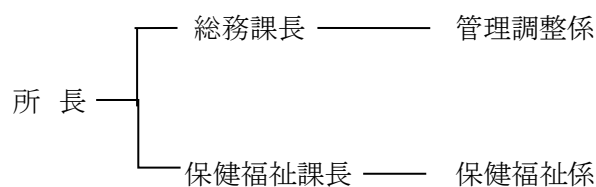
(岐阜県障がい者総合相談センター 2階)

- ・施設占用床面積 465.24 m²
- ・施設・設備の概要
集団療法室、調理実習室、相談室、脱衣シャワー室、待合ホール、倉庫及び事務室

Ⅱ 組織及び職員

(令和3年4月1日現在)

1. 組織



2. 職員

区分		所長	総務課	保健福祉課	計
事務	一般事務等		2	2	4
	心理・福祉			2	2
技術	精神科医	1			1
	保健師			2	2
会計年度任用職員				9	9
計		1	2	15	18

Ⅲ 業務実績

1. 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所及び関係機関の要請に応じて技術指導及び技術援助を行っている。

令和3年度に行った技術指導及び技術援助の実績は以下の通り。

関係機関領域	回数	対象者延人数
保健所	8	116
市町村	11	118
医療	0	0
福祉	1	9
教育	2	31
労働	0	0
司法	0	0
各精神保健福祉団体	6	231
学生教育	2	40
その他	5	28
合計	35	573

(1) 保健所への技術指導援助実施状況

保健所名	自殺対策事業	ネットワーク事業	地域移行支援 市町村支援事業	援助回数 合計
岐阜	1			1
西濃	1		1 地域移行推進会議	2
関	1			1
可茂	1			1
東濃			1 精神保健企画会議	1
飛騨	1			1
岐阜市		1 ひきこもり支援事業		1
援助回数合計	5	1	2	8

(2) 市町村への技術指導援助実施状況

市町村名	自殺対策	ひきこもり対策	事例検討	援助回数合計
岐阜市	1		1	2
大垣市		1		1
恵那市		1		1
美濃加茂市		1	1	2
郡上市	2	1		3
海津市	1			1
神戸町			1	1
援助回数合計	4	4	3	11

(3) その他の団体及び機関への技術指導援助実施状況

関係機関	自殺対策	ひきこもり支援	依存症支援	心の健康づくり	事例検討	組織育成	援助回数合計
福祉		1					1
教育			1		1		2
各精神保健 福祉団体	1	3	1			1	6
学生教育	1			1			2
その他			5				5
援助回数合計	2	4	7	1	1	1	16

2. 精神医療審査会活動実績

精神医療審査会は、精神障害者の人権に配慮した適正な医療及び保護を確保するため、精神病院に入院している精神障害者の処遇等について専門的な機関として審査を行うために設置された。平成14年4月より、精神医療審査会に関する事務が岐阜県精神保健福祉センターに移管されたことに伴い、医療保護入院者の届出、措置入院者及び医療保護入院者の定期病状報告及び退院等の請求の受付を岐阜県精神保健福祉センターで行って審査会に諮っている。

岐阜県精神医療審査会は、平成27年7月から4合議体（各合議体5名の審査委員）で構成しており、毎月第1・第2・第3・第4火曜日に当センター内で審査を行っている。

令和3年度の活動内容は以下のとおりである。

(1) 精神医療審査会月別審査件数

区分	A合議体				B合議体				C合議体				D合議体				合計
	医療保護入院届	定期病状報告		退院請求	医療保護入院届	定期病状報告		退院請求	医療保護入院届	定期病状報告		退院請求	医療保護入院届	定期病状報告		退院請求	
		措置	医療保護			措置	医療保護			措置	医療保護			措置	医療保護		
4月	81	0	18	0	72	1	30	0	46	0	25	0	49	0	27	0	349
5月	71	1	18	1	63	0	25	1	31	0	30	0	52	1	22	0	316
6月	53	0	24	0	22	0	8	0	19	0	0	1	33	0	23	0	183
7月	81	0	20	0	73	1	56	0	72	0	44	0	43	0	15	1	406
8月	66	1	14	1	56	0	25	2	33	0	27	0	31	0	24	0	280
9月	88	0	33	0	70	0	22	0	40	1	25	1	38	0	24	1	343
10月	54	0	22	0	68	1	12	1	30	0	35	0	46	0	15	0	284
11月	61	0	7	0	59	0	25	0	43	0	31	0	38	0	23	0	287
12月	83	0	19	0	67	0	29	1	33	0	17	1	43	0	17	1	311
1月	72	0	36	0	44	0	19	0	33	0	36	0	37	1	27	0	305
2月	48	0	16	0	71	0	20	0	35	0	24	0	33	0	21	0	268
3月	63	0	14	0	72	0	27	1	28	0	29	0	28	0	19	0	281
合計	821	2	241	2	737	3	298	6	443	1	323	3	471	2	257	3	3,613

(2) 退院等請求に関する相談及び審査状況

令和3年度の退院等請求に関する電話相談件数は476件である。このうち退院請求に関する相談は32件、処遇改善に関する相談は及び退院請求と処遇改善請求の同時相談は該当なし。

その他（請求には至らない訴えやその他相談）は444件となっている。

電話相談のうち退院請求に関する相談については、請求書を郵送。そのうち書面を受理したものは退院請求22件であった。

請求を受理した場合は、本人及び家族等、病院管理者に書面で意見を求め、その後、委員2名が病院まで出向いて意見聴取を行う等、公正な審査に努めている。

令和3年度に請求を受理したものは、審査の途中で取り下げのあった者や退院により消失した者等を除き、令和4年3月31日までに退院請求14件に審査結果を通知した。

なお、受理から審査結果通知までに要した日数は令和4年3月31日現在では平均68.1日となっている。

① 退院等請求の月別相談件数

区 分	退院請求	処遇改善請求	退院・処遇改善 同 時 請 求	そ の 他	合 計
4 月	1	0	0	23	24
5 月	5	0	0	4	9
6 月	0	0	0	10	10
7 月	3	0	0	9	12
8 月	4	0	0	54	58
9 月	2	0	0	88	90
10 月	3	0	0	75	78
11 月	0	0	0	40	40
12 月	2	0	0	29	31
1 月	7	0	0	34	41
2 月	4	0	0	35	39
3 月	1	0	0	43	44
合 計	32	0	0	444	476

② 退院等請求審査状況

(R3年度請求受理分/R4年3月31日現在)

区 分	退 院 等 請求書郵送	電話受理 (電話のみ)	書類による 受理件数	書 類 受 理 後 の 状 況			
				審査	取り下げ	請求事由 消 失	未審査
退院請求	32	0	22	14	1	5	2
処遇改善	0	0	0	0	0	0	0
合 計	32	0	22	14	1	5	2

区 分	審査件数	審 査 結 果		
		現在の入院形態 が適当/処遇は 適当	他の入院形態へ の移行が適当	入院の継続は適 当でない/処遇 は適当でない
退院請求	14	14	0	0
処遇改善	0	0		0
合 計	14	14	0	0

【受理日から結果通知までに要した日数】

平均68.1日

(R3年度請求書受理分)

区 分	30日以内	31日～40日	41日～50日	51日～60日	61日以上	合計
結果通知件数	1	0	1	4	8	14

3. 精神障害者保健福祉手帳及び自立支援医療（精神通院医療）に係る判定・交付実績

精神保健福祉センターでは、診断書が添付された精神障害者保健福祉手帳交付申請及び自立支援医療費（精神通院医療）支給認定（再認定）申請について、判定会の意見を聴いて判定を行い、手帳及び受給者証を交付している。

手帳は2年ごと、自立支援医療受給者証は、1年ごとに更新（但し、判定は2年ごと）される。

（1）精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳の申請件数（新規・更新別）

申請件数	新規	更新	計
診断書	1,941	5,273	7,214
年金証書	120	2,893	3,015
合計	2,061	8,168	10,229

精神障害者保健福祉手帳の交付件数（等級別）

交付件数	1級	2級	3級	計	不承認
診断書	2,182	3,626	1,376	7,184	30
年金証書	354	2,527	107	2,988	27
合計	2,536	6,153	1,483	10,172	

精神障害者保健福祉手帳所持者数（障害等級別）

1級	2級	3級	計
5,042	12,350	2,764	20,156

※有効期限切れを含まない

（2）自立支援医療費（精神通院）受給者証

自立支援医療受給者証の申請件数、交付件数、所持者数

申請者数	交付件数	不承認	審査中	令和3年度末現在 受給者証交付者数
22,232	22,232	0	0	24,245

自立支援医療費（精神通院医療）支給認定者数（障害別）

症状性を含む器質性精神障害 F0	745
精神作用物質使用による精神及び行動の障害 F1	258
統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害 F2	5,686
気分障害 F3	10,062
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 F4	2,675
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 F5	105
成人の人格及び行動の障害 F6	146
精神遅滞 F7	270
心理的発達の障害 F8	1,315
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害 F9	794
てんかん G40	2,185
その他の精神障害 F99	4
分類不明	0
計	24,245

4. 教育研修

保健所において精神保健福祉業務に従事する職員をはじめ、関係機関や医療機関の職員、その他の相談員等に教育的研修を行い、精神保健福祉に対する技術水準の向上を図っている。

令和3年度に実施した教育研修は以下のとおりである。

(1) 精神障がい者ホームヘルプサービス従事者研修会

本研修会は精神障がい者に対して円滑なホームヘルプサービスが実施できることを目的に平成12年度から実施している。

- ・期 日：令和3年8月2日（月）14：00～15：30
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター 大会議室 Web 開催
- ・受 講 者：ヘルパー、介護福祉士、相談事業所職員等 34人
- ・研修内容：講演 「精神障がい者へのホームヘルプサービス」
講師 大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 准教授 三田 優子 氏

(2) 精神保健福祉従事者研修会

精神保健福祉法の改正により、平成14年度から福祉サービスの窓口が市町村に変わったため、精神保健福祉業務を担う人材の育成を目的に、精神疾患や精神障害の基礎的な知識や相談技術について実践場面を通して習得するため研修会を実施している。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症防止のため中止とした。

(3) ひきこもり講座

県民がひきこもりへの理解を深めることによって、ひきこもりの当事者や家族への偏見が減少することを目的として実施している。また、支援者においては、当事者及び家族への援助姿勢や支援方法を学ぶ機会に、当事者や家族においては、不安の緩和や孤立を防ぐことを目的として実施している。

- ・期 日：令和3年8月26日（木）13：30～15：30
- ・実施方法：Web 開催
- ・受 講 者：一般県民、県市町村職員、教育関係者、その他の支援機関等 50人
- ・研修内容：講演 「10年間のひきこもり経験を語る事ができた、
ひきこもり当事者の居場所/コロナ禍のひきこもり当事者活動」
講師 Toshi 氏（ひきこもり当事者グループ ひき桜 in 横浜）

(4) ひきこもりに関する支援者研修会

ひきこもりの支援を行うことが想定される支援者が、ひきこもりに関する基本的な知識や姿勢、関わりの留意点を学び、共通した認識の基で相談支援が提供できるようになることを目的として実施している。

【1回目】

- ・期 日：令和3年10月29日（金）13：30～15：30
- ・実施方法：Web 開催
- ・受 講 者：保健所、県市町村職員、教育関係者、自立支援相談機関、民間団体、その他の支援機関等 164人
- ・研修内容：講演 『ひきこもる』という生き方
講師 高岡 健 氏(岐阜県立希望ヶ丘こども医療福祉センター 精神科医師)

【2回目】

- ・期 日：令和3年12月6日（月）13：30～15：15
- ・実施方法：Web開催
- ・受講者：保健所、各市町村職員、教育関係者、自立支援相談機関、民間団体、その他の支援機関等 140人
- ・研修内容：講演 「～効果的な訪問支援とは～
ひきこもり状態にある本人と家族への訪問支援」
講師 船越 明子 氏（神戸市看護大学 看護学部教授）

（5）高次脳機能障がい普及啓発研修会

医療関係者・行政・福祉施設等関係職員に対して研修を実施することにより、高次脳機能障がい者についての理解を深め、リハビリテーション等が適切に行われることにより、高次脳機能障がい者に対する支援体制の確立を図ることを目的に開催した。

- ・期 日：令和3年12月24日（金）
- ・実施方法：Web開催
- ・受講者：市町村、医療機関、介護サービス事業所などの職員 149人
- ・研修内容：講演 『症状に対応した効果的な生活訓練の方法及び支える家族への支援方法』
講師：社会医療法人宏潤会 大同病院 退院支援課
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 藤山 美由紀 氏

（6）高次脳機能障がいフォーラム

急速に進む高齢化等を背景に、高次脳機能障がい者は急増しており、この障がいの適切な診断やリハビリテーション、社会復帰・生活・介護支援が求められている。そこで、高次脳機能障がいやその支援について、広く知ってもらうことを目的に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

（7）岐阜県高次脳機能障がい協力医療機関等ネットワーク会議

県内に居住する高次脳機能障がい者等の支援が当事者にとって身近な地域において適切に実施されるよう、高次脳機能障がい協力医療機関等との連携強化を図ることを目的にネットワーク会議の開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

（8）地域自殺対策指導者研修会

保健所・市町村の保健師及び福祉担当職員、医療、福祉関係者等が、自殺の背景にある問題について理解を深め、地域の実態に応じた自殺対策計画策定や、自殺予防についての普及啓発、相談及び自死遺族への支援等、総合的な自殺対策が実施できることを目的として開催している。

【1回目】

- ・期 日：令和3年7月20日（火）
- ・実施方法：Web開催
- ・受講者：教育関係機関、保健所、市町村、救急医療機関の関係者等 244人
- ・研修内容：講演 「死にたいという気持ちや行動にどのように向き合うか」
講師 静岡県立静岡がんセンター 腫瘍精神科医長 杉本 達哉 氏

【2回目】

- ・期 日：令和4年2月2日（水）
- ・実施方法：Web 開催
- ・受 講 者：教育機関関係者、保健所・市町村保健福祉関係者 156人
- ・研修内容：事例報告（養老町、美濃加茂市）
「SOS の出し方に関する教育の実際と課題について」
アドバイザー：岐阜大学教育学部心理学コース 准教授 松本 拓真 氏

【3回目】

- ・期 日：令和4年2月16日（水）
- ・実施方法：Web 開催
- ・受 講 者：教育機関、保健所・市町村保健福祉関係者、相談窓口業務担当者 162人
- ・研修内容：講演「自殺に傾いた気持ちを捉えるために」～自傷を繰り返す人、自殺を計画している人、助けてがいえない人への支援～
講師 ひだまりのこみちクリニック 院長 櫻庭 泰 氏

(9) ころを守る講演会（自死遺族会等支援事業）

県民及び支援関係者を対象に、自死遺族への理解を深めることを目的に開催している。

- ・期 日：令和4年3月3日（木）
- ・実施方法：Web 開催
- ・受 講 者：一般県民、保健所、市町村保健・福祉担当者 25人
- ・研修内容：①講演『千の風の会のあゆみ』
講師 岐阜県精神保健福祉センター職員
②岐阜県自死遺族の会からのメッセージ
岐阜県自死遺族の会 千の風の会代表 木下 宏明 氏

5. 広報普及

例年、精神障がい等に対する県民の理解及びメンタルヘルス対策等を考えていただくことを目的に、岐阜県精神保健福祉センターの職員が講師として出前トーク等を実施している。

番号	開催日	開催場所	講演（講義）内容	講師	講習・研修会名
1	R3.10.25	西濃総合庁舎	地域全体で子どもたちを育む環境づくり	職員	令和3年度西濃地区社会教育振興会議・青少年育成関係者圏域研修会

6. 精神保健福祉相談

(1) 所内相談

所内における相談業務は、月、水、木、金曜日（祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時に行っている。

① 月別相談件数

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規	10	10	14	6	10	0	14	16	12	7	13	8	120
再来	31	28	35	32	19	0	41	34	38	34	44	41	377
合計	41	38	49	38	29	0	55	50	50	41	57	49	497
%	8.3	7.6	9.9	7.6	5.8	0.0	11.1	10.0	10.1	8.2	11.5	9.9	100.0

② 年齢別・性別相談件数

年齢 性別	0～ 9 歳	10～ 14 歳	15～ 19 歳	20～ 24 歳	25～ 29 歳	30～ 34 歳	35～ 39 歳	40～ 44 歳	45～ 49 歳	50～ 59 歳	60 以上	不明	合計
男	0	4	28	93	77	59	58	39	19	12	6	1	396
女	0	4	0	11	16	5	41	9	8	4	3	0	101
合計	0	8	28	104	93	64	99	48	27	16	9	1	497
%	0.0	1.6	5.6	21.0	18.7	12.9	19.9	9.7	5.4	3.2	1.8	0.2	100.0

③ 地域（保健所）別相談件数

保健所	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛驒	岐阜市	県外	不明	合計
新規	41	23	8	11	10	2	3	22	0	0	120
再来	116	83	21	44	15	1	0	97	0	0	377
合計	157	106	29	55	25	3	3	119	0	0	497
%	31.6	21.3	5.8	11.1	5.0	0.6	0.6	24.0	0.0	0.0	100.0

④ 問題別相談件数

区分	病気に 関すること (病気の疑い)	病気に 関すること (治療)	病気に 関すること (社会復帰)	性格・行動に 関すること	人間関係に 関すること (家族)	人間関係に 関すること (職場)	人間関係に 関すること (その他)	結婚・恋愛・性	育児・家庭指導	思春期の心身の悩み	不登校	家庭内暴力	無気力・ひきこもり	非行・反社会的行為
新規	2	2	4	12	10	0	1	1	0	0	1	0	57	0
再来	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	361	0
合計	2	3	5	12	10	0	1	1	0	0	1	0	418	0
%	0.4	0.6	1.0	2.4	2.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	84.1	0.0

区分	依存の問題 (酒害)	依存の問題 (ネット)	依存の問題 (薬物)	依存の問題 (ギャンブル)	依存の問題 (その他)	高齢者	高次脳機能障害	自殺関連	うつ・うつ状態	摂食障害	発達障害	てんかん	犯罪被害	災害	その他	合計
新規	3	3	3	7	2	1	0	2	2	0	2	0	0	0	5	120
再来	0	0	4	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	377
合計	3	3	7	16	2	1	0	2	2	1	2	0	0	0	5	497
%	0.6	0.6	1.4	3.3	0.4	0.2	0.0	0.4	0.4	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	100.0

⑤ 処置別相談件数 (延件数)

処置区分	助言・指導	医学的処置	心理療法	傾聴	集団療法	心理テスト	心理検査	他施設・機関の紹介	その他	合計
新規	120	0	0	0	0	0	0	0	0	120
再来	377	0	0	0	0	0	0	0	0	377
合計	497	0	0	0	0	0	0	0	0	497
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) 電話相談（こころのダイヤル119番を含む）

所内における電話相談は、月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前9時から午後5時までであり、精神保健福祉センターの職員が対応している。

こころのダイヤル119番の電話相談は、月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）午前10時～午後4時までであり、専任相談員1名が対応している。

① 月別相談件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	660	599	731	589	695	665	637	586	513	654	518	524	7,371
開設日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	18	238
1日平均件数	31.43	33.28	33.23	29.45	33.10	33.25	30.33	29.30	25.65	34.42	28.78	29.11	30.97

② 曜日別相談件数

曜日	月	火	水	木	金	合計
件数	1,470	1,489	1,594	1,452	1,366	7,371
割合 (%)	19.94	20.20	21.63	19.70	18.53	100.00

③ 相談者年齢別、男女別相談件数

性別 \ 年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不明	合計
男	1	98	177	551	911	281	694	878	3,591
女	3	72	324	223	584	530	1,053	991	3,780
合計	4	170	501	774	1,495	811	1,747	1,869	7,371
%	0.05	2.31	6.80	10.50	20.28	11.00	23.70	25.36	100.00

④ 地域（保健所）別相談件数

保健所	岐阜	西濃	関	可茂	東濃	恵那	飛騨	岐阜市	県外	不明	合計
件数	565	754	64	1,072	727	155	215	1,472	374	1,973	7,371
%	7.67	10.23	0.87	14.54	9.86	2.10	2.92	19.97	5.07	26.77	100.00

⑤ 問題別相談件数

区分	病気に 関すること (病気の疑い)	病気に 関すること (治療)	病気に 関すること (社会復帰)	病気に 関すること	性格行動に 関すること	人間関係に 関すること (家族)	人間関係に 関すること (職場)	人間関係に 関すること (その他)	結婚・恋愛・性	育児・家庭指導	思春期の 心身の悩み	不登校	家庭内暴力	無気力・ひきこもり	非行・反社会的行為
件数	222	841	3,281	317	536	189	213	40	32	16	40	8	259	4	
%	3.01	11.41	44.54	4.30	7.27	2.56	2.89	0.54	0.43	0.22	0.54	0.11	3.51	0.05	

区分	依存の問題 (酒害)	依存の問題 (有機溶剤)	依存の問題 (薬物)	依存の問題 (ギャンブル)	依存の問題 (ネット)	依存の問題 (ゲーム)	依存の問題 (その他)	高齢者	高次脳機能障害	自殺関連	うつ・うつ状態	摂食障害	発達障害	てんかん	犯罪被害	災害	その他	合計
件数	71	0	26	122	11	43	22	22	26	217	90	16	374	1	5	0	327	7,371
%	0.96	0.00	0.35	1.66	0.15	0.58	0.30	0.30	0.35	2.94	1.22	0.22	5.07	0.01	0.07	0.00	4.44	100.00

⑥ 相談者別相談件数

区分	本人	親	妻・夫	兄弟・姉妹	友人・上司・同僚	子	その他	合計
件数	6,418	510	113	75	31	75	149	7,371
割合 (%)	87.07	6.92	1.53	1.02	0.42	1.02	2.02	100.00

⑦ 処置別 (件数)

区分	傾聴	助言・指導	他機関を紹介	来所相談を促す	中断	その他	合計
件数	5,232	1,373	509	147	23	87	7,371
割合 (%)	70.98	18.63	6.91	1.99	0.31	1.18	100.00

⑧ 相談時間

最長相談時間 (分)	総計 (分)	平均相談時間 (分)
100	98,094	13.31

(3) 高次脳機能障がい相談支援事業

精神保健福祉センター及び支援拠点病院での相談に加え、各地域の支援協力機関とも連携し、県下全域において高次脳機能障がい者の相談支援を行っている。

① 精神保健福祉センター及び支援拠点病院で実施した相談実績 (件)

精神保健福祉センター			支援拠点病院			
来所相談	電話相談	メール相談	来所相談	電話相談	メール相談	その他
8	26	2	24	45	7	0

注：精神保健福祉センターについては、センター及び「こころのダイヤル119番」で受理した件数。

② 地域支援協力機関で実施した相談実績 (委託) (件)

来所相談	電話相談	メール相談	計
225	312	47	584

7. 自殺対策事業

岐阜県では平成21年3月に「自殺総合対策行動計画」を策定し、現在「第3期自殺総合対策行動計画（平成30年度～令和5年度）」に沿って、自殺対策を推進している。

また、平成29年4月に、当センター内に「地域自殺対策推進センター」を設置し、地域自殺対策計画策定及び施策推進の研修会や市町村支援を実施している。

(1) 人材育成

自殺対策計画策定を行っている市町村や支援を行っている保健所、その他の関係機関の担当者を対象に、地域の実情に応じた自殺対策計画の策定や、支援を推進していくための研修会を開催した。

また、自死遺族支援について、保健、福祉担当者その他、高齢福祉関係者を対象に、それぞれの役割を知り、遺族への適切な支援を学ぶ研修会を行った。

- ・地域自殺対策指導者研修会（3回）（詳細はP12参照）

(2) いのちの教育出前講座

若者の自殺予防対策が課題になっていることから、10～20代の若者層を対象に、自死遺族会の代表が講師となり、自殺の背景や遺族の心情を理解し、いのちについて考える機会とするための講座を開催した。

- ・期日等：令和3年7月21日（水）岐阜県消防学校 94人
- ・内容：導入（講演）「心の健康とストレスについて」
講師 岐阜県精神保健福祉センター職員
講演 「いのち」について考える～生きづらさを抱える人達と支えあうために～
講師 岐阜県自死遺族の会「千の風の会」代表 木下 宏明 氏
- ・期日：令和3年9月8日（水）岐阜県警察学校 46人
- ・内容：講演「警察における自死遺族支援の可能性をめぐって」
～自死遺族当事者の立場から～
講師 岐阜県自死遺族の会「千の風の会」代表 木下 宏明 氏
- ・期日：令和3年11月29日（月）岐阜県警察学校 45人
- ・内容：講演 「警察における自死遺族支援の可能性をめぐって」
～自死遺族当事者の立場から～
講師 岐阜県自死遺族の会「千の風の会」代表 木下 宏明 氏

(3) 法律とこころの健康相談

経済的な問題や生活上のトラブルが原因で、精神的に不安定となり自殺に至る場合も少なくないことから、法的な問題とともに精神的な支援をすることにより、自殺を防ぐことを目的に、令和3年度から「法律とこころの健康相談」を実施している。 計10回 24人

(4) 自死遺族支援

自死遺族は心理的にも社会的にも厳しい状況に置かれていることから自助グループでの支援を充実するとともに、県民の自死遺族への理解や支援の促進を図ることが必要である。

平成21年に自死遺族の会「千の風の会」が発足し、「分かち合いの集い」を継続して開催するとともに、広く県民の理解を求めるために講演会を開催した。（詳細はP14参照）

①自死遺族の集い「千の風の会」

平成20年1月に岐阜県精神保健福祉センターが羽島市で開催した「自死遺族支援のフォーラム」に参加いただいた数名の自死遺族の方々や、岐阜県精神保健福祉センターと関わりのあった自死遺族の方々が、平成20年9月から準備を重ね、平成21年1月12日の準備会で

「千の風の会」として活動を開始した。突然亡くなった大切な人に対する哀しみや深い思いや体験を、自死遺族同士が集まって安心して語り合える「分かち合いの集い」を隔月で開催している。また、自死遺族支援の普及啓発のために「こころを守る講演会」を開催している。

<分かち合いの集い>

月 日	内 容	参加者	開催場所
5月23日(日)	・運営委員会 ・分かち合いの集い	4人 5人	障がい者総合相談センター
7月25日(日)	・運営委員会 ・分かち合いの集い	5人 6人	障がい者総合相談センター
11月28日(日)	・運営委員会 ・分かち合いの集い	5人 14人	障がい者総合相談センター
1月23日(日)	・運営委員会 ・分かち合いの集い	5人 5人	障がい者総合相談センター
3月27日(日)	・運営委員会 ・分かち合いの集い	5人 5人	障がい者総合相談センター

平成22年10月から開始している「有志による分かち合いの集い(ピア・カフェ)」は、令和3年度においては5回開催された。自由な活動の場として、平成24年10月からは、フリースペースが毎月開催されている(精神保健福祉センター内)。

また、平成30年1月からは傾聴の心得などを学んだ会のメンバーが、少人数で参加者の気持ちを聴く「サポートスペースれんげ草」を、毎月フリースペース開催日に開催している。(精神保健福祉センター内)

<自死遺族ピアカウンセリング事業(サポートスペースれんげ草)>

月 日	内 容	参加者	開催場所
4月 7日(水)	サポートスペースれんげ草	3人	障がい者総合相談センター
5月12日(水)	サポートスペースれんげ草	4人	障がい者総合相談センター
6月 2日(水)	サポートスペースれんげ草	5人	障がい者総合相談センター
7月 7日(水)	サポートスペースれんげ草	5人	障がい者総合相談センター
8月 4日(水)	サポートスペースれんげ草	4人	障がい者総合相談センター
11月 6日(土)	サポートスペースれんげ草	6人	障がい者総合相談センター
11月10日(水)	サポートスペースれんげ草	5人	障がい者総合相談センター
12月 1日(水)	サポートスペースれんげ草	4人	障がい者総合相談センター
1月 5日(水)	サポートスペースれんげ草	4人	障がい者総合相談センター
2月 2日(水)	サポートスペースれんげ草	5人	障がい者総合相談センター
3月 2日(水)	サポートスペースれんげ草	5人	障がい者総合相談センター

8. ひきこもり対策事業

ひきこもりの相談件数の増加に伴い、平成13年度から、ひきこもりグループミーティングを試行的に開始し、平成14年度から本事業として開始した。また、平成28年6月に「ひきこもり地域支援センター」を開設し、個別の支援に加え、岐阜県のひきこもり支援体制の底上げを目的に、相談支援事業、人材養成事業、普及啓発事業、体制整備事業を実施している。

(1) 相談支援事業

ひきこもりグループミーティングは、本人グループと家族グループ（区分：新規・継続）に分け、3つのグループを月1回ずつ実施している。家族新規グループは、来所相談後に初めて参加するグループとし、それを終了した者が継続グループに参加する。本人グループミーティングは平成18年度から開始し、月1回継続して実施している。

また、家族グループに対しては、ひきこもり学習会を実施している。平成29年度から圏域相談会事業、ひきこもり医療アセスメント事業やライフプラン相談会、フリースペース事業を実施し、医療、経済、居場所等ニーズに応じた事業を実施している。

①ひきこもりグループミーティング参加状況

- ・家族継続グループ（実人数 10人、平均5.2人）
- ・家族新規グループ（実人数 8人、平均2.6人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(人)
継続	5	4	6	—	4	中止	5	6	6	6	5	5	52
新規	7	3	4	1	中止	中止	1	0	3	1	1	5	26
計	12	7	10	1	4	0	6	6	9	7	6	10	78

- ・本人グループ（実人数 本人5人、平均 3.0人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(人)
人数	3	1	4	4	3	中止	3	3	4	中止	2	3	30

②家族グループミーティングに参加する当事者の年齢と性別（実人数）

家族継続・新規グループ

本人の年齢 \ 性別	男	女	計(人)
10代	1	0	1
20代	9	1	10
30代	5	0	5
40代～	2	0	2
計(人)	17	1	18

本人グループ

本人の年齢 \ 性別	男	女	計(人)
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	2	0	2
40代	1	1	2
50代～	1	0	1
計(人)	4	1	5

③ ひきこもり学習会

家族グループミーティング及び来所相談の家族を対象に、ひきこもりに対する理解を深め、対処方法を学ぶことを目的に『ひきこもり学習会』を実施した。

- ・期 日：令和3年7月10日（土） 13:30～15:30
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター 27名
- ・内 容：講演「ひきこもる人の家族として大切にしたいこと
—家族会からのメッセージ—

講師 KHJ 東海ブロック NPO 法人なでしこの会 理事長 田中 義和 氏

④ ひきこもり医療アセスメント事業 当事者の年齢と性別（実人数）

当センターの来所相談について、ガイドラインによるひきこもり多軸評価法を参考に、医師による医療アセスメントを実施し、精神障害の有無及び一定の病状判断をもとに、ひきこもり本人の現状把握及び支援方針を検討した。

本人の年齢 \ 性別	男	女	計（人）
10代	0	0	0
20代	9	2	11
30代	4	2	6
40代	4	0	4
50代～	0	0	0
計（人）	17	4	21

⑤ ひきこもりに関する圏域相談会

当センターは、岐阜市に位置し、遠方の県民にとっては利便性が低い現状であった。

そこで、より多くの県民の相談の場を確保するため、平成28年度から圏域相談会を実施している。

岐阜圏域

日 時	会 場	相談件数
令和3年11月 1日(月)	山県市役所	0
令和3年12月17日(金)	羽島市保健センター	1
令和4年 3月14日(月)	本巣市ぬくもりの里	0

西濃圏域

日 時	会 場	相談件数
令和3年 9月 6日(月)	垂井町保健センター	中止
令和3年12月20日(月)	安八町保健センター	0
令和4年 2月14日(月)	海津総合福祉会館	0

中濃地域

日 時	会 場	相談件数
令和3年10月 5日(火)	郡上市大和保健福祉センター	0
令和3年10月12日(火)	川辺町保健センター	3
令和4年 1月31日(月)	関市保健センター	2
令和4年 2月 8日(火)	可茂総合庁舎	1

東濃地域

日 時	会 場	相談件数
令和3年 8月30日(月)	恵那市役所	中止
令和3年10月25日(月)	ホーリークロスセンター	4
令和3年11月25日(木)	東濃西部総合庁舎	4
令和3年12月13日(月)	恵那市役所	0
令和4年 2月28日(月)	ホーリークロスセンター	2

飛騨地域

日 時	会 場	相談件数
令和3年 9月13日(月)	飛騨総合庁舎	中止
令和4年11月11日(木)	飛騨総合庁舎	1
令和4年 3月 1日(火)	下呂保健センター	0

⑥ ひきこもり家族教室

ひきこもりに悩む家族がひきこもりの理解や対応方法を学び、身近な地域で家族同士が交流することで家族の孤立を予防するため、令和元年度から家族教室を実施している。

岐阜地域

日 時	会 場	参加人数
令和4年 3月14日(月)	本巣市糸貫ぬくもりの里	中止

西濃地域

日 時	会 場	参加人数
令和3年12月20日(月)	安八町保健センター	0

中濃地域

日 時	会 場	参加人数
令和4年 1月31日(月)	関市保健センター	中止

東濃地域

日 時	会 場	参加人数
令和4年 2月28日(月)	ホーリークロスセンター	中止

飛騨地域

日 時	会 場	参加人数
令和3年 9月13日(月)	飛騨総合庁舎	中止

⑦ ライフプラン相談会

ひきこもりの長期化や親の高齢化により経済的な不安の軽減のために、財産等の相続や公的年金の個別相談会を実施した。

- ・期 日：令和4年3月2日(水) 13:30～15:30
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター 3階 小会議室
アドバイザー 春見 鉄男 氏(ファイナンシャルプランナー)
- ・参加者：2名

⑧ 居場所事業

<フリースペース いこい>

ひきこもり本人の居場所として、当センターにてフリースペースを開催しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月～9月、1月～3月の間、計10回が中止となった。

- ・期 日：第1・2・3・5金曜日
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター2階 集団療法室
- ・参加者：延べ1人

<フリースペース らららの森>

ひきこもり本人は、外出先として図書館を利用する方が多く、親和性が高い場所であると言われている。平成30年度から、図書館でひきこもり当事者の新たな居場所を開設し、当事者同士がつながり、社会とかかわるきっかけ作りをしている。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7回のみの実施となった。

- ・期 日：月1回（4月、5月、7月、10月、11月、12月、1月）
- ・場 所：岐阜県図書館 研修室1、研修室2
- ・参加者：延べ 17人

<西濃・中濃・東濃・飛騨圏域の居場所>

ひきこもり本人及びその家族等の孤立を防ぎ、社会とのつながりを回復するために、安心感や共感性を大切にした居場所を西濃・中濃・東濃・飛騨圏域にて、各圏域月2回開設している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各圏域3～4回中止になった。

- ・西濃圏域 実施回数：20回
- ・中濃圏域 実施回数：20回
- ・東濃圏域 実施回数：21回
- ・飛騨圏域 実施回数：13回（令和3年7月から開始）

(2) 人材養成事業、普及啓発事業

広く県民へひきこもりの理解を深めるための講座や支援者が当事者や家族への援助姿勢や支援方法を学ぶための研修会を開催した。（詳細はP12参照）

(3) 体制整備事業

平成28年度に、当センター内に、ひきこもり地域支援センターを開設し、各支援機関とひきこもり支援に対する共通認識を持ち連携体制の構築を目的に、ひきこもり地域支援連携会議を実施している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となった。

- ・期 日：令和4年1月28日（金） 14：00～16：00
- ・実施方法：Web 開催
- ・参加者：学識経験者、支援機関（保健、医療、福祉、教育、労働、警察、民間団体等）
23人
- ・内 容：
 - 1) 岐阜県ひきこもり支援対策
 - 2) 令和3年度ひきこもり地域支援センター事業報告
 - 3) 令和4年度ひきこもり地域支援センター事業計画
 - 4) 意見交換「地域における支援者の役割と有機的な連携について」

9. 依存症対策総合支援事業

(1) 依存症に関する家族教室

薬物やアルコール等の依存問題を持つ当事者の家族が、講師を交えて他の家族と共に依存症の問題について正しい知識と対応方法を学び、話し合える場となることを目的としている。

【1回目】

- ・期 日：令和3年7月8日（木） 14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 8人
- ・研修内容：講演 「ギャンブル依存症と家族の対応について」
講師 ひいりんぐ工房とぼす 臨床心理士 西野敏夫氏
家族ミーティング ファシリテーター：ギャマノン岐阜グループ

【2回目】

- ・期 日：令和3年8月5日（木） 14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 4人
- ・研修内容：講演 「アルコール・薬物依存症家族の方へのメッセージ①」
講師 岐阜断酒会、岐阜ダルク
家族ミーティング ファシリテーター：断酒会、岐阜ダルク

【3回目】

- ・期 日：令和3年10月7日（木） 14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 1人
- ・研修内容：講演 「アルコール・薬物依存症家族の方へのメッセージ②」
講師 岐阜断酒会、岐阜ダルク
家族ミーティング ファシリテーター：断酒会、岐阜ダルク

【4回目】

- ・期 日：令和3年11月11日（木） 14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 10人
- ・研修内容：講演 「ギャンブル依存について」
講師 各務原病院 看護師長 丸山 浩司氏
家族ミーティング ファシリテーター：ピア岐阜、ギャマノン岐阜グループ

【5回目】

- ・期 日：令和3年12月9日（木）14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 8人
- ・研修内容：講演「アルコール・薬物依存症と家族の対応について」
講師 ひいりんぐ工房とぼす 臨床心理士 西野敏夫氏
家族ミーティング ファシリテーター：断酒会、岐阜ダルク

【6回目】

- ・期 日：令和4年1月6日（木）14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター3階 大会議室
- ・受 講 者：依存症を持つ方の家族 5人
- ・研修内容：講義「ギャンブルに伴う借金への対応について」
講師 司法書士あかね法務事務所 司法書士 伊藤謙一氏
家族ミーティング ファシリテーター：ピア岐阜、ギャマノン岐阜グループ

（2）依存症地域生活支援研修

地域において生活の支援を行う方々が、依存症の基本的な知識や姿勢について理解を深めることで、依存症患者等を早期に発見し、必要に応じて早期介入など適切な相談支援を実施できることを目的に研修を行った。

- ・期 日：令和4年2月3日（木）
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター2階 集団療法室
- ・参 加 者：26人（市町村、保健所・社会福祉協議会、医療機関、自立支援相談機関等）
- ・研修内容：講演「アディクションとリカバリー その背景と相互作用構造、回復について」
講師 市川 岳仁氏 （三重ダルク代表）

（3）依存症啓発講演会

依存症に関する支援者や家族・当事者、依存症に興味がある人を対象に、依存症の啓発や理解を深めることを目的に研修会を開催した。今年度はコロナ感染対策のため、YouTubeでの研修映像の配信（限定公開）を行った。

- ・期 日：令和4年2月～3月中の2週間
- ・実施方法：YouTube 限定公開 / 参 加 者：23人
- ・研修内容：講演「家族が依存症になったら ～家族ができること・できないこと～」
講師 多喜田 恵子氏 （岐阜保健大学看護学部教授）

（4）依存症地域支援連携会議等

依存症患者等に対する包括的な支援を行うため、地域における依存症に関する情報や課題の共有、研修計画の調整等を目的に、行政や医療、福祉、司法関係者を含めた依存症地域支援連携会議及び分科会を開催した。

<依存症地域支援連携会議>

- ・期 日：令和4年1月20日（木）
- ・実施方法：Web 開催 / 出 席 者：13人

<アルコール・薬物分科会>

- ・期 日：令和3年9月30日（木）14：00～16：00
- ・実施方法：Web 開催
- ・参加者：5人（各務原病院、大垣病院、岐阜ダルク、岐阜県断酒連合会、加茂保健所）
- ・会議内容：①情報共有及び意見交換
②事例検討 1)アルコール事例提供（各務原病院）
2)薬物事例提供（岐阜ダルク）

<ギャンブル等・ゲーム分科会>

- ・期 日：令和3年10月28日（木）14：00～16：00
- ・場 所：岐阜県障がい者総合相談センター 3階大会議室及びWeb 開催
- ・参加者：8人（岐阜女子大学、各務原病院、弁護士会、司法書士会、社会福祉協議会、警察本部生活安全課、岐阜県教育委員会）
- ・会議内容：①情報共有及び意見交換
②事例検討（各務原病院、岐阜県社会福祉協議会から事例提供）

(5) 依存症専門相談

精神保健福祉センターにおける相談・ギャンブル等依存症プログラム（SAT-G）を令和2年度から開催した。

	本人	家族	その他	合計（SAT-G実施者）
ギャンブル依存	4	5		9（1）
ネット依存		2	1	3
アルコール依存		3		3
薬物依存		3		3
その他の依存		2		2
合 計	4	15	1	20（1）

※SAT-Gは、令和2年度から開始

(6) 特定相談指導事業（酒害相談指導事業）

精神保健福祉センターにおける地域精神保健福祉業務の一環として、アルコール関連問題に関する知識の普及、相談指導等総合的な対策を実施することにより、アルコール関連問題の発生予防、アルコール依存症者の社会復帰の促進等を図ることを目的に、その対策として、昭和54年から全国の精神保健福祉センターで酒害相談事業を行うことになった。

当センターでは昭和56年から本事業を実施しており、令和3年度の実績は次のとおりである。

① 酒害相談

区分	本人	家族	その他	合計
所内				
来所相談	0	3	0	3
電話相談	22	39	8	69
所外相談 ※	17	14	0	31
合 計	39	56	8	103

※ 所外相談とは、岐阜・西濃・中濃・東濃・高山の断酒会会員に依頼をして、5会場において計20回の相談を実施したものである。

※ 所内相談は延べ件数を計上

② 委託事業

酒害相談指導事業の一環として、酒害者の社会復帰と再発予防を図るため、県内地域の断酒会が組織する「NPO法人岐阜県断酒連合会」に委託して、酒害者等研修会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。